CLAIRトピックス――最近のクレアの動きを短くまとめて紹介します

シドニー事務所

埼玉県・クイーンズランド州姉妹提携 35 周年記念式典

2019 年 10 月 17 日、クイーンズランド州議会議事堂別館で、同州と埼玉県の姉妹提携 35 周年記念式典が行われました。アナスタシア・パラシェ同州首相と神尾髙善埼玉県議会議長が両県州を代表してスピーチを行い、これまでの 35 年間に亘る両県州の姉妹交流の歴史を振り返り、さらに、交流のさらなる進展に向けて今後 5 年間の姉妹交流の取り組みを示す協定書にサインしました。

同式典では、記念式典数日前に発生した台風 19 号による被害への対応や災害復旧・復興に尽力するために埼玉県に留まった大野元裕埼玉県知事のビデオメッセージが、披露されました。大野知事は、埼玉県熊谷市がラグビーワールドカップ 2019 日本大会の会場の 1 つとなっていることや、埼玉県が 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会でバスケットボールやサッカーなどの 4 競技の会場となることを紹介しました。そして、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に際し、姉妹県である埼玉県に足を運ぶことを勧め、さらなる交流の進展を訴えました。

同式典には、埼玉県議会議員、埼玉県内の大学関係者、クイーンズランド州地方自治体等担当大臣、同州議会議員、在ブリスベン日本国総領事、地元日本人コミュニティの方々に加え、埼玉県内で JET プログラムを経験した元 JET 参加者など数多くの関係者が参加し、ともに 35 周年を祝いました。

協定書にサインをしたクイーンズランド州のアナスタシア・パラシェ首相（左）と神尾髙善埼玉県議会議長（右）

会場で披露された大野元裕埼玉県知事のビデオメッセージ

ロンドン事務所

日本からイギリスへ桜のプレゼント

2017 年 8 月に、メイ前英国首相が訪日した際の「繁栄協力に関する日英共同宣言」の中で、ラグビーワールドカップ 2019 日本大会と 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の間を「日英文化季間」と位置づけ、双方の文化、産業を盛り上げる点で協力することが決められました。その中の具体的なプロジェクトとして、日英友好の象徴として桜の木を日本から英国に寄贈する、という提案がなされました。

この桜植樹プロジェクトは、一般社団法人日英協会と、Japan Matsuri 社（英国）を中心に、プロジェクトチームを設立し、日本側のプロジェクトチームは日本での資金調達を、英国側のプロジェクトチームは、植樹場所の選定、木の調達などを進めてきました。

2019 年 11 月 27 日、ロンドン中心部のリージェンツパークで、桜の植樹セレモニーが開催されました。リチャード王子や長嶺駐英日本国大使、佐野在英日本人会会長をはじめ、日英交流関係者、イギリス政府関係者、国会議員など総勢百数十人が出席し、「タイハク」5 本と「ソメイヨシノ」30 本が、公園内の小川沿いに植えられました。また式典では、桜の寄贈を受ける地元の小学生による、日本古謡「さくらさくら」の合唱も披露されました。

桜の植樹は、2019 年秋から 2021 年冬にかけて実施される予定です。

植樹を行うリチャード王子と佐野在英日本人会会長

「さくらさくら」を合唱する地元小学生

ソウル事務所

「Anime x Game Festival 2019（AGF 2019）」にクレアブースを出展

2019 年 12 月 14 日・15 日の 2 日間、京畿道高陽市にある国際展示場 KINTEX において開催された日本のアニメやゲームに関するイベント「Anime x Game Festival 2019（AGF 2019）」にクレアブースを出展しました。アニメ・ゲームを活用した自治体パンフレットなどによる地域 PR、アニメとコラボした地域の伝統工芸品が当たる抽選会、各地域の観光資源を楽しめる VR 体験など、アニメ・ゲームイベントらしい催しを企画して多くの来場者に楽しんでもらいました。VR 体験では、公益財団法人東京観光財団と JNTO ソウル事務所から動画を提供いただき、日本の魅力的な観光地などを紹介。また一般社団法人アニメツーリズム協会に協力いただき、アニメ聖地マップの展示を行いました。来場者からは「アニメ・ゲームの舞台になっている地域へ旅行したい」といった声も多く聞かれ、日本地域の情報発信、インバウンド促進につながる取り組みになりました。

会場の様子

VR 体験について説明を行うクレアソウル事務所職員

北京事務所

大連市で JET 経験者との意見交換会を開催

2019 年 12 月 13 日、遼寧省大連市で、同市から派遣された JET 経験者を集めた意見交換会を開催しました。在瀋陽日本国総領事館大連領事事務所の亀井啓次所長にもご参加いただき、14 人の JET 経験者と、日中交流を促進するための方策等について話し合いました。

日本との交流が盛んな大連市には、JET 経験者が 40 人以上と大変多いため、JET 経験者間の交流も全体では行われていなかったようですが、今回の意見交換会では、大連市の JET 経験者で構成する Wechat グループをより活用する話が出るなど、新しい交流のきっかけを作ることができました。

参加者との集合写真

日本各地の食に係る産品を PR

2019 年 11 月 1 日から 12 月 27 日まで、外務省等の主催により、日本各地の食に係る産品（日本米、日本酒、魚介類、食器・調理器具など）の中国国内での消費拡大に向けたプロモーション事業「匠心極致　日本美食（匠が極める日本の美食）」が実施されました。

12 月 9 日には、当該事業の一環として、メディアやインフルエンサーを招いたブースター・イベントが北京市で開催され、会場では、元卓球選手の福原愛さんをはじめとする著名人らによるトークイベントなどが行われたほか、日本料理店や地方自治体による PR ブースも設置され、クレア北京事務所も来場者に各地域の魅力を PR しました。

クレアブースでの PR の様子

パリ事務所

ストラスブール自治体会議で研修＆ネットワーキング

2019 年 12 月 11 日から 12 日にかけて、フランスの全国地方公務員センター（CNFPT）の研修機関である全国地方行政研修所（INET）が例年 12 月に主催する、自治体幹部職員向けの年次会議、ストラスブール自治体会議（ETS）が市内会議場で開催され、クレアパリ事務所も参加しました。INET は、地方自治体の拠出金により運営され、自治体幹部に特化した研修組織で、ストラスブールにあります。

今年は、「地域の関係者の協働を！」（ACTEURS DES TERRITOIRES, CONSTRUISONS ENSEMBLE !）をテーマに、人事管理や自治体運営についての全体会や分科会が行われました。分科会には、民間大手保険会社の代表取締役、社会学者、作家などユニークな講師を迎えたものもあり、民間のノウハウや多彩な分野の専門家からの経営手法を学ぼうと、参加者は熱心にメモをとり、質問をしていました。

会議は、約 1,200 人もの幹部職員が参加し、単なる研修だけではなく、全国の自治体関係者との情報交換やネットワーク作りの場となっています。クレアの幹部セミナー参加者等も多く参加しており、クレアパリ事務所もこの機会を活用して連携強化を図りました。

全体会のラウンドテーブル

情報交換を行う参加者

ニューヨーク事務所

JETAA ワシントン D.C. 支部が 30 周年記念イベントを実施

今年度支部設立30周年を迎えたJETAAワシントンD.C.支部が、2019年11月7日に記念イベントを実施しました。日米友好基金、日米交流財団などで事務局長を務めるJET経験者、ページ・コッティングハム－ストリーター氏の表彰式や行政、民間、大学などさまざまな立場で活躍するJET経験者と支部メンバーで“JETの熱量を保ち続けること”をテーマにしたディスカッションが行われました。JET経験者のリーダーシップが日米の友好な関係構築に重要な役割を果たしていることを再認識する場となりました。

表彰式の様子。右から3番目がページ氏

全米都市連盟年次総会に参加

2019年11月20日から23日まで、全米都市連盟の年次総会がテキサス州サンアントニオで開催されました。全米から4,500人以上の市町村長、市町村議会議員など市町村関係者が集まり、レジリエンスの高いインフラ作りや地方経済などについて議論を行いました。クレアニューヨーク事務所では、それらを聴講して自治体が抱える課題や取り組みを学ぶ機会を得たほか、主催したレセプションには多くの総会参加者が訪れ、地方レベルでの新たな関係構築に向けたきっかけを作ることができました。

クロージングセッションの様子

シンガポール事務所

伝統芸能「盛岡伝統さんさ踊り」がシンガポール人を魅了

2019年10月19日・20日にシンガポールにおいて、岩手県と国際交流基金クアラルンプール日本文化センターの協力のもと「盛岡伝統さんさ踊り」の団体を日本から招へいし、星日文化協会（JCS）（日本との文化交流促進を行う現地の団体）が主催する「日本文化祭」および現地のコミュニティセンターの1つである「Our Tampines Hub」で公演を行い、併せて岩手県の観光PRを実施しました。

本事業は、伝統芸能を通してシンガポール人の日本文化への理解を深め、興味・関心を高めることにより、訪日誘客等につなげることを目的としています。

JCS日本文化祭における公演

コミュニティセンターでのワークショップ

今回49回目を迎えた日本文化祭での公演では500人を超える観客が集まり、会場は大きな拍手に包まれました。

Our Tampines Hubでは公演に加えて観客を対象としたワークショップを開催しました。子どもを中心とした大勢のシンガポール人が参加し、振り付けの練習の後に実際に音楽に合わせて盛岡伝統さんさを踊り、会場は大きな盛り上がりを見せました。

演目の間には盛岡伝統さんさ踊りの由来や衣装について丁寧な説明が行われ、観客は感心した様子で耳を傾けていました。

市民国際プラザ

地域国際化ステップアップセミナー in 札幌を開催

2019年11月8日に地域国際化ステップアップセミナーin札幌「フェアトレードと持続可能な地域づくり～パートナーシップで広める身近な国際協力」を開催しました。まず日本のフェアトレード活動をけん引してきたNGOのシャプラニール＝市民による海外協力の会から活動の意義や課題を発表いただいた後、自治体の取り組みを札幌市から、ビジネスとしての広がりについて（株）マックスドナから紹介いただきました。その後、地域として取り組む意義を、取り組みの「見える化」の観点から（一財）CSOネットワークにご発表いただき、今後フェアトレードをさらに広めていくためのさまざまなアプローチや連携のあり方を考えました。後半のパネルディスカッションでは、函館市を例に、自治体がフェアトレードに取り組むためのアドバイスを登壇者からいただきました。参加者からの意見や質問も交えながら、自治体と市民活動が連携するヒントや広くPRするための方法について考える機会となりました。詳しい報告書は市民国際プラザWEBサイトからご確認いただけます！

http://www.plaza-clair.jp/

札幌市の事例紹介

パネルディスカッションの様子

多文化共生課

「多文化 Opinion Exchange」で、日本における多様性について考えました！

2019 年 12 月 7 日、明治学院大学と共催で、「日本における多様性」をテーマに、日本在住で外国にルーツを持つ子どもに焦点を当てた内容で「多文化 Opinion Exchange」を開催しました。在住外国人が増加し、国際結婚も増える中、外国にルーツを持つ子どもも増加しています。こうした背景の中で、学校では子どものルーツに配慮した教育がますます課題となっています。

トークセッション

岩井氏 発表

今回は、岐阜県可児市に住んでいる外国にルーツを持つ子どもが出演するドキュメンタリー映画「Journey to be Continued －続きゆく旅－」を上映し、監督である岩井成昭氏からもお話をいただきました。また、外国にルーツを持つ明治学院大学の学生 2 人にご協力いただき、自身の生い立ちや家族のこと、日本での経験等をトークセッション形式で伺い、参加者からは「学生さんから自身の体験、経験に基づいた話を聞くことができ、面白かった」や「学生さんの話から、今日のテーマについて多角的に考えることができた」との声をいただきました。これからも外国にルーツを持つ方と意見交換ができる機会を作っていきたいと考えています。

経済交流課

国際協力の人財の宝庫「自治体国際協力人材バンク」をご活用ください

クレアでは、自治体職員の国際協力への参加・活動を推進し、自治体の国際理解を深めるため、「自治体国際協力人材バンク」を設置しています。人材バンクに登録されている方は、地方公務員とその退職者で、①過去に JICA 等において国際協力活動の経験がある方、または活動を予定している方、②自治体において国際協力活動の遂行が可能と判断された方となっています。

人材バンクに登録された方には、当協会の「自治体国際協力専門家派遣事業」を通じて、主に中国や ASEAN 諸国およびインド、スリランカで、農業や環境教育等の指導へのご協力をいただいており、派遣先の海外地方自治体で高い評価を得ております（※ 2018 年派遣実績は 9 件）。

当バンクの情報は、自治体に提供することができます。ただし、自治体への情報提供に同意いただけた方のみのデータになります。海外自治体間との連携方法として、各種国際協力事業や自治体等が主催するセミナー・シンポジウム開催の際に、当バンクから講師を選定するなど、ぜひ有効にご活用ください。

（参考）登録状況 登録者数：1,248 人（2019 年 3 月現在）※専門分野への登録者数（重複登録を含む）：1,506 人
登録分野：32 分野（教育 179 人、農業 145 人、土木 99 人、保健衛生 97 人、環境保全 85 人等）

■お問い合わせ　経済交流課　Tel：03-5213-1726　Mail：kokukyou@clair.or.jp

JET プログラム事業部

スポーツ国際交流員（SEA）中間研修を開催！

2019 年 11 月 27 日から 28 日にかけて東京都内の国立スポーツ科学センターにてスポーツ国際交流員（SEA）中間研修を開催し、11 人の SEA および 6 人の地方公共団体 SEA 担当者が受講しました。

1 日目は専門家の方に「異文化コミュニケーション」および「外国人コーチとして日本でのコーチング経験」に関して講義いただきました。受講者がコミュニケーションスタイルに関する違いについての理解を深めるとともに、さらにその違いを乗り越えて SEA と日本人コーチが共同で業務を行う方法を学ぶ機会となりました。

2 日目はパネルディスカッションやグループディスカッションを行い、受講者同士の話し合いを通して通常の業務事情や日頃の悩みなどを共有しながらさまざまな問題を解決するための方法を学ぶことができ、大変有意義な研修となりました。

SEA は本研修を受講することで、SEA としての能力向上を図り、業務にあたっています。地方公共団体の皆様におかれましては、スポーツ指導を通じた国際交流活動に貢献できる優秀な SEA の任用を是非ご検討ください。

グループディスカッションの様子

受講者（SEA および SEA 担当者）の集合写真

交流親善課

姉妹（友好）都市の提携希望自治体を紹介しています！

クレアでは、新たな姉妹（友好）都市提携を希望している自治体の情報を把握し、ホームページにて紹介しています。新たな姉妹（友好）都市の提携をご検討される際に、ぜひご覧ください。

また、海外の自治体向けに日本の自治体の情報も掲載していますので、掲載希望がありましたら交流親善課まで気軽にお問い合わせください。（Tel：03-5213-1723、E-mail：shimai@clair.or.jp）

＜日本の自治体と提携を希望する海外の自治体（直近の掲載情報）＞

○中国 河北省 滄州市　○フィリピン ロンブロン州 サン・アグスティン　○チュニジア共和国 ゼビルト県 ラスジベル市
○イタリア リグーリア州 ジェノヴァ県 サンタ・マルゲリータ・リーグレ市　○イタリア ロンバルディア州 パビア県 ザバッタレッロ町

詳しくは、http://www.clair.or.jp/j/exchange/shimai/kibou.html をご覧ください。